

中国向けECCモール 出品支援

金沢信用金庫（金沢市）は、中国向け電子商取引（ECC）サービスでインタセクト・コミュニケーションズ（東京）と提携したと発表。コロナ禍の長期化でインバウンド需要が低迷する中、取引先企業の販路開拓を支援する。

金沢信金が資金を拠出し、中国の対価アプリ「ワイチャット」内でインタセクト社が運営する日本製品のECCモール「日本優選館」に石川

取引先企業の販路 金沢信金が開拓

興の専用サイトを設ける。出品企業は金沢信金が窓口となつて募集。インマルエンサーを活用した動画配信やライブコマースなど、画面でのサポートもあり、輸出に不慣れた企業の販売を後押しする。二十一日に金沢信金本店でECCサービスの説明会を開く。一商品当たりの登録費用は五千円。十二月二十日までは無料とする。

（潮目勝之）

2022年11月12日(土)
北陸中日新聞朝刊

越境ECCで販路拡大支援

し、ECCサイトでの販売開始までの手続きを協力してサポートする。

同金庫と取引のある事業者が対象となる。中国の通信アプリ「ワイチャット」内の越境ECCモール「日本優選館」に石川県専用のペ

金沢信用金庫

ーシを設け、事業者からの出品を受け付ける。金沢信金が窓口となり、出品を希望する事業者をインタセクト・コミュニケーションズに紹介する。ページに出品する際には、1商品につき5千円が

中国向け、21日から

かかる。同社が事業者の商品を販売する委託販売形式となる。都内の倉庫に在庫を保管しておき、注文が入り次第、航空便で送る。注文から最短4日間で商品を届けることが可能。SNS（交流サイト）を活用した宣伝も活用する。ネット上で影響力を持つ中国人の「インフルエンサー」に動画サイトなどで商品を紹介してもらう。宣伝費用は同金庫が負担する。21日には同金庫本店で越境ECCサービスの説明会を開く。

専用ページのイメージ図（インタセクト・コミュニケーションズ提供）



2022年11月8日(火) 北國新聞朝刊

中国向け通販支援 越境ECCを紹介

本店で説明会

金沢信用金庫は21日、取引先の中国向け通販の支援を始めた。越境ECC（電子商取引）サイトを運営し、同金庫と業務提携するインタセクト・コミュニケーションズ（東京）が同日、金沢市の金沢信用金庫本店で越境ECCの説明会を開き、34社にサービスの仕組みや中国市場の魅力を紹介した。

担当者らが中国の通信アプリ「ワイチャット」のECCモール「日本優選館」に石川県の企業専用ページを設けることや、注文を受け取ってから最短4日間で中国に商品を届けられることなどを説明した。

専用ページは12月1日に開設する。通常1商品につき5千円かかる商品登録料を無料とするキャンペーンを同日まで実施する。

2022年11月22日(火) 北國新聞朝刊